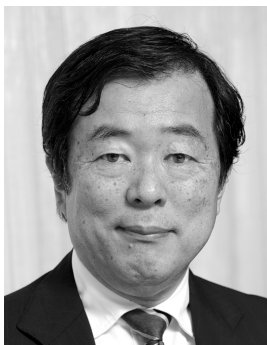


有事の世界経済を読み解く

双日総研チーフエコノミスト
吉崎達彦

- *世界を覆う「恐怖の5段活用」
- *迫るインフレと金融引き締め
- *ウクライナ戦争と経済制裁の影響
- *機能不明確なG7、G20
- *思えば夢があった90年代
- *経済依存と平和は無関係
- *エネルギーは普通の貿易財ならず
- *ロシアが払う代償は大きい
- *日米におけるインフレの実態
- *日本は経済政策の見直し時期に



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は双日総研の吉崎さんにおいていただきました。吉崎さんは1960年のお生まれで、一橋大学卒業後、日商岩井に入社され現在に至っております。ここでも何回か地政学のお話をされてまいりましたが、今年は何といてもウクライナ戦争が始まりました、世界の地政学も一変した感じがございます。そういった中で世界の経済がどういふふうに変わっていくのか、今日はじっくりお話を伺いたいと思います。

それでは吉崎さんよろしくお願いたします。（拍手）

世界を覆う「恐怖の5段活用」

吉崎 ご紹介ありがとうございます。双日総

研の吉崎でございます。

本日にたいへんな暑さでございます、縁起でもないことを申し上げますが、熱中症というのは8月よりも7月が危ないんだそうです。特に今週みたいになうわつと暑くなったときが危ないんだそうで、今日も本当だったら家でリモートで聞いていただくほうがいいのかなという気もするんですが、多数お運びいただきました。まして本日に光栄でございます。

今週はサミットがございまして、6月26日から28日までドイツのエルマウで行われたわけですが、そこでもふと思ったのですが、来年のサミットは広島ということになった。日本政府が早速発表しているんですが、来年の5月19、20、21日です。しみじみ思うんですが、日本の